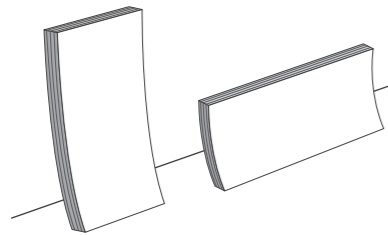


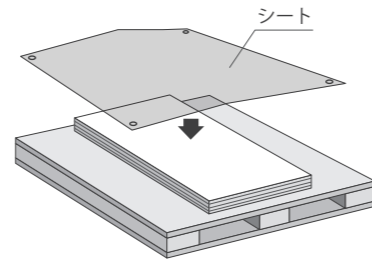
この度は、Cucurie ボードをお買い上げ頂き、ありがとうございました。
施工の前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、安全かつ正しく施工してください。

⚠ 在庫・保管について

× 立てかけ厳禁



○ 平置き



- * 直射日光や雨の当たる場所を避け、風通しの良い屋内に保管してください。
- * 平らな場所でパレット等に平積みの上、シートをかけて保護してください。
- * 立てかけは反りの原因となりますのでしないでください。

⚠ 施工前の確認

- * 施工前に品番及び、破損・傷等の確認をしてください。その後の責任は負いかねますので、ご注意ください。
- * 仮止めテープ・接着剤は弊社推奨の『施工キット』もしくは、同等品をお使いください。

【施工キット】

セット内容 接 着 剤：コニシ株式会社 ボンド化粧ボード用 (333ml) ×2本
両面テープ：コニシ株式会社 キッチンパネルテープS (10m) ×2巻

- * 使用量目安：3×6板：1枚につき0.5セット、3×8板：1枚につき0.75セットが必要です。
- * マスキングテープ、コーキングが必要な場合は別途お求めください。

お手入れに関する注意とメンテナンス

- * 表面の汚れは柔らかい布かスポンジに中性洗剤をつけて、拭き取ってください。
- * タワシ類及び、漂白剤・強アルカリ・弱酸性洗剤は使用しないでください。



⚠ 注意

- * 建築基準法・火災予防条例などの法令に従って施工してください。
- * Cucurieボードは環境の変化により伸縮の可能性がありますので、必ず説明書の施工方法に従って、施工してください。
- * 必ず標準工法・注意事項に従って施工してください。
- * 屋内でご使用ください。但し、浴室や水を大量に使用する施設の壁面には使用できません。また、天井用途にはご使用できません。
- * 高温多湿となる場所には施工しないでください。（剥がれ・浮きの原因となります。）
- * 運搬・施工は2人以上で行ってください。（Cucurieボードがたわむ原因となります。）
- * 仮止めテープ・専用接着剤は弊社指定の『施工キット』を推奨致します。
- * 下地施工は下地材料メーカーが指定する方法に従ってください。
- * 家庭用加熱調理機器とCucurieボード表面は15cm以上離してください。
15cm以上離せない場合は、熱により変色や焦げが発生する場合がありますため、防熱板を使用してください。
- * Cucurieボードの運搬・作業時には滑り止めの手袋を着用していただき、加工には防塵対策をとって
保護マスク・保護メガネを着用のうえ、防塵丸ノコを使用してください。もし、粉塵が皮膚についたり、
目、鼻、口に入った場合は速やかに水で十分洗い流してください。異常を感じたら、直ちに医師の手当てを受けてください。
- * 接着剤は引火性がありますので、作業場所は火気厳禁としてください。
- * マグネットの吸着力はご使用になるマグネットにより異なります。事前にサンプル等で確認ください。

1. 下地について

⚠ 適さない下地

- * ALC躯体への直貼り * 湿気を含んだ下地、湿気を帯びる可能性のある下地
- * RC壁面への直貼り * 塗装面、壁紙面、化粧面への直貼り

■ 施工可能な下地

- ・ プラスターボード(12.5mm以上) ・ ケイカル板(6mm以上)
- ・ モルタル面（不陸がないこと） ・ ラワン合板(9mm以上)

* 下地がモルタル板、ケイカル板、合板の場合は
Cucurieボードを貼りつける部分の全面にあらかじめシーラーを塗布してください。

■ 下地の調整

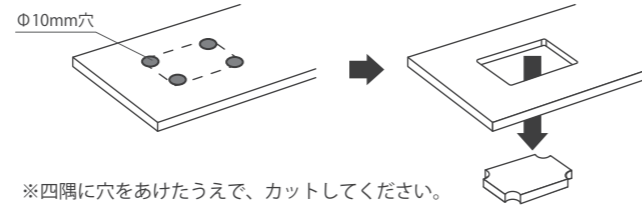
- * 下地は不陸のないことと、十分に乾燥していることを確認してください。
下地に不陸がある場合はパテ等で平滑に仕上げてください。
- * 見切材についてはカタログ掲載品を推奨致します。

■ 割付け・プライマー処理

- * Cucurieボードは突き付けしないでください。高湿度下で伸びて、突き上げを生じたり、
低湿度下で収縮して、隙間を生じる場合があります。平目地部材で納めてください。
- * 必要に応じてプライマー処理を施してください。

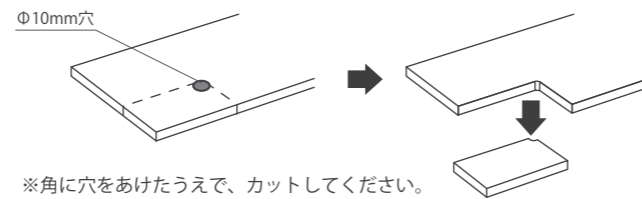
2. コンセントなどの穴あけ加工

- ①製品表面からドリルで四隅に穴をあける
- ②製品裏面から小カッター又はノコギリでカットする
- ③カット面を面取りする

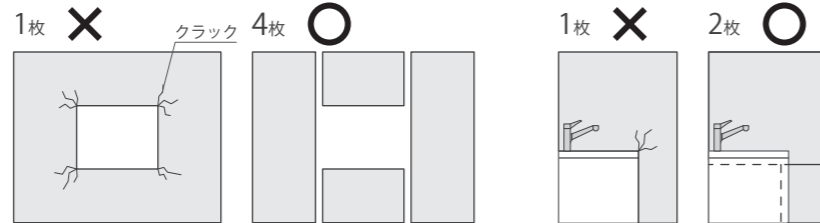


3. 切り欠き加工

- ①製品表面からドリルで角に穴をあける
- ②製品裏面から小カッター又はノコギリでカットする
- ③カット面を面取りする

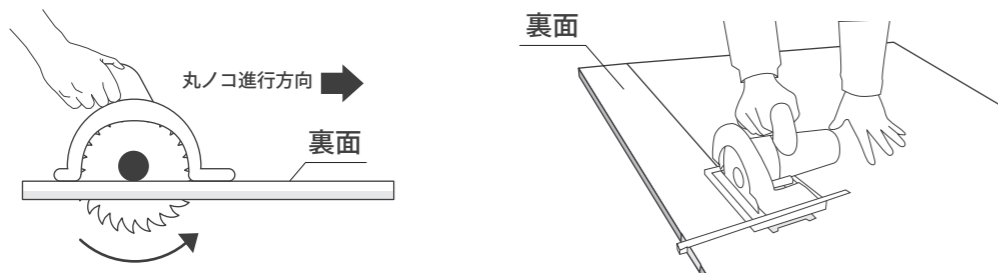


⚠ ※切り欠き部が大きい場合や、ピン角でカットした場合、クラックが出る恐れがありますので、複数枚を使用した割り付けとしてください。



⚠ カット加工する場合の注意点

- *サンダーを使用しないでください。火の粉が化粧面に飛散し、取れなくなります。
- *表面の保護フィルムは剥がさず、必ず裏面からカットしてください。
- *切断作業は屋外で行ってください。やむを得ず屋内で切断する場合は防塵丸ノコをご使用ください。

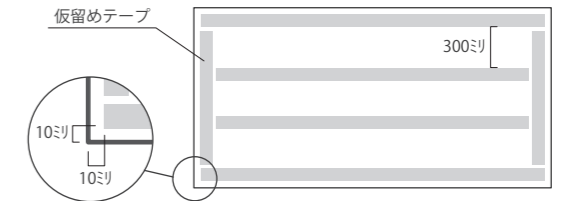


4. 面取り加工

- *切断面は鋭利なため、必ずサンドペーパーやヤスリ等で面取りをしてください。
- *錆びにくい鋼板を使用しておりますが、切断面には防錆処理を施すことをお勧め致します。

5. 仮留めテープの貼り付け

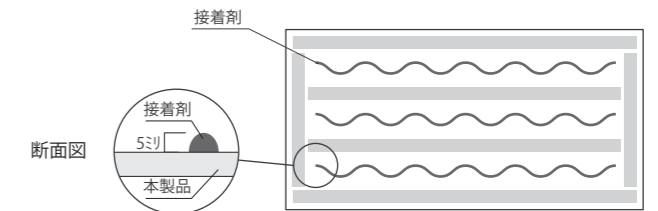
- ①Cucurieボード本体裏面に両面テープや接着剤が確実に接着するかを調べてください。接着不良を起こす場合は、プライマー、シーラーの塗布等、本体裏面を適切に処理してください。
- ②テープはクリアランスを10mm、テープ間隔を300mm程度あけて、貼り付けてください。仮留めテープは強く押さえて、密着させてください。



- ⚠ ※剥がれや落下によるけが、もしくは健康障害を生ずる恐れがありますので、必ず弊社推奨の「施工キット」もしくは同等品をお使いください。
- ※テープ間隔が広いと接着剤の硬化前にCucurieボードが変形し、曲り、浮きなどが生じる場合があります。

6. 接着剤塗布

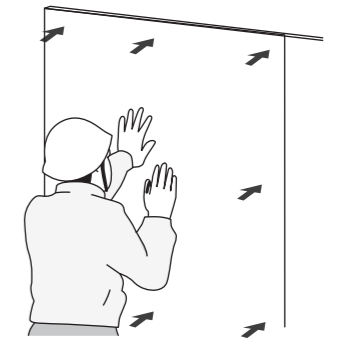
- ①接着剤を高さ5mm程度で塗布してください。



- ⚠ ※気温が5℃以下の場合には施工できません。
- ※接着剤使用時には換気を良くし、火気に注意して作業を行ってください。

7. 貼付け・圧着

- ①Cucurieボードを貼り付ける際、中央に浮きが発生しないように注意してください。
- ②貼付け後にできればローラーなどを使用して板面全体を強い力で均一に押し付けてください。
- ③養生は気温が20℃の場合、24時間放置（目安）してください。



- ⚠ ※貼付けは2人以上で行ってください。
- ※仮留めテープが壁面に接着すると調整ができなくなります。
 - ※押し付けが弱いと接着剤の硬化前に本体が変形して、両面テープの接着が外れる場合があります。
 - ※本品は単体でご使用になると変形の恐れがあります。十分な強度がある壁に圧着してください。
 - ※本品の全体が密着する凹凸な面でない場所に取り付けてください。
 - ※用途により本品または相手側の吸着物等が容易に外れる可能性があります。